

かしはらし シルバー人材センター かわらばん

(公社) 榎原市シルバー人材センター 〒634-0075 榎原市小房町11番1号(かしはら万葉ホール東側)

TEL 0744-26-2560 FAX 0744-26-2561

1. 令和5年度決算監査

令和6年5月20日(月)午前9時30分 事務所会議室

令和5年度業務状況及び決算報告について、下田吉美監事、吉田廣彰監事より監査を受けました。業務状況確認や収支状況において財務諸表、残高照合、会計帳票などの会計処理が適切に行われている認定を受けました。

監事からは、SC事業は高齢者生きがい対策から高齢者生活補填事業に変容しようとしており、そのような状況において

①未収金の適正管理②リーダー会員の育成③高齢会員への仕事提供(開発)④会員拡大⑤社会状況に応じた受注価格の設定⑥派遣事業の推進⑦高齢者の生活安定を重視した運営⑧会員とより意思疎通を図り、会員と一体となったSC事業の推進⑨費用対効果を考慮した収益配分などの意見が付されました。

「会員のみなさんは引き続き、自主・自立・共働・共助のセンター理念を基に

- ① 自らの健康チェック、作業前の安全ミーティング、危険予知の徹底に努めて下さい。
- ② 継続した受注や就業拡大のため、シルバーに仕事を頼んで良かったと言われる仕事を心がけて下さい。
- ③ SC事業に自らが参画し、高齢社会に対応した新規事業の開拓や働き方改革に向けた取り組みをお願いします。



2. 令和6年度第1回理事会



令和6年5月29日(水)午前10時から榎原市中央公民館3階講座室で開催されました。審議された議案は、

- ①第1号議案 令和5年度第2次補正(決算前)収支予算②第2号議案 令和5年度事業報告③第3号議案 令和5年度収支決算報告④第4号議案 監査報告⑤表彰候補者選考⑥役員補充選任の他、令和6年度定時総会の招集手続きなど9議案と報告1件です。

審議の概要は令和5年度第2次補正収支予算書では決算整理のための収支調整を行い、経常収益279,346千円、経常費用276,212千円を決算見込み額とし、当期経常増減額は3,134千円となり、正味財産期末残高は25,693千円となる補正予算が決議されました。

令和5年度決算概要は、令和5年度末会員数は前年度より8名減少して481名となり、会員の平均年齢は75. 2歳、75歳以上の会員は246名(51. 1%)で、新会員の入会平均年齢も70. 5歳と会員の高年齢化が顕著に現れてきています。

理事会では、①配分金、材料費、請負契約等について質問がありました。②議事資料の簡素化の意見があった他、決算事項に関わって会員の高齢化とシルバー事業が本来の生きがい対策から最近の社会経済状況から生活費補填へと移り変わりつつあり、センターとして当期正味財産約8,000千円を就業拡大、会員拡大の事業に活用されたい、また事務所の事務量削減化のデジタル化を推進し、会員へのデジタル化講習事業に活用すると共に、会員でない市内高齢者も参加できる運営とし会員拡大につなげるべきとの意見があり、この意見に付帯して監事からの決算監査時の運営に対する意見も報告され、議論をかさねていく方向性が確認されました。



3. 令和6年度 定時総会

令和6年度6月27日(木)午前10時から かしはら万葉ホール1階において、出席会員403名(当日出席93名・表決書240名・委任状70名)で開催されました。



総会では、松南宏次理事長の挨拶に続き、会員表彰が行われ会員10年以上91名(代表、森本則夫会員)、役員表彰6名(代表、松村勝子会員)、特別表彰1名(加茂庚一前理事長)に授与されました。



総会議事では、総会議長に石原田町の森川隆展会員、議事録署名人に東坊城町の松村勝子会員及び木原町の中村俊夫会員を選出し、令和5年度事業報告・収支決算報告・監査報告、役員補充選任の件が議案として審議され承認されました。(決算概要は、第1回理事会報告を参照願います。)



役員補充選任議案では理事に辻本昌弘さんが議決承認を受けました。また、報告事案として、令和6年度事業計画及び収支予算が報告されました。



その概要は、令和6年度事業計画及び収支予算書は、シルバー人材センターを取り巻く環境は、労働力不足が懸念されるなか、企業に対し70歳までの雇用が努力義務とされ、会員の高齢化により一層拍車をかけ、コロナ禍からの脱却にむけ社会経済が活発に動き出している。このような社会の変革に対応し、センターの継続的安定的事業運営には、会員の拡大、就業の拡大に取り組むと共に、高齢者のインターネット利用率の上昇に合わせ、デジタル化によるセンター業務の効率化に取り組む必要があります。また、高齢者の就業、企業・家庭等の現状を踏まえた様々なニーズに応え、地域の活性化に寄与するため、理念である「自主・自立・共働・共助」の実践を運営に活かすことを基本に事業計画の大きな柱は、



- ① 組織活動事業(業務のデジタル化推進)
- ② 会員拡大の推進(入会説明会での映像の活用と並行してホームページでも入会促進)
- ③ 就業機会の拡大
- ④ シルバー派遣事業
- ⑤ 福祉・家事援助、子育て支援
- ⑥ 安全・適正就業対策事業(安全就業ニュースの会員共有化・飛び石対策としてのカルマー刈払機導入)
- ⑦ 普及啓発活動の推進

目的達成のため、会員と役職員が一体となった運営をお願いいたします。

予算規模としては、配分金収入が180,680千円、受取材料費30,000千円、受取事務費22,968千円、派遣事業等受託収益3,580千円介護予防総合事業収益4,992千円、受取補助金等34,609千円を計上し、前年度当初予算より8,309千円増額し総額で278,409千円となり、費用は、支払配分金185,000千円、支払材料費22,000千円、その他プロパー職員の給与費用等を含み経常費用を277,409千円計上し、当期経常益が1,000千円となり、正味財産期末残高は26,693千円となる予算が報告されました。

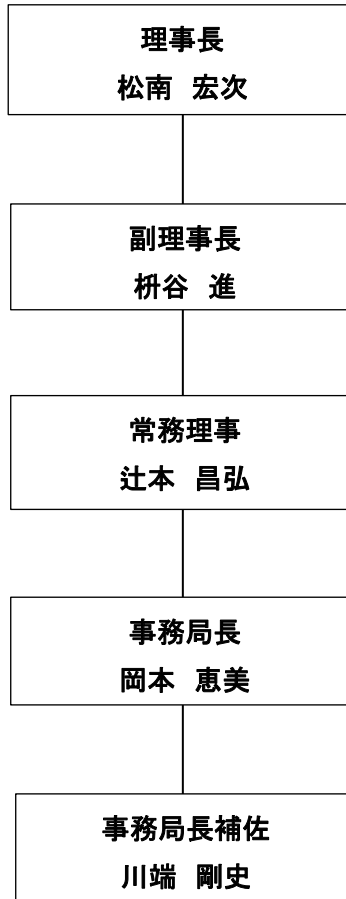
総会終了後、臨時理事会が開催され、理事の互選により、常務理事に辻本昌弘理事が選任されました。また理事長からシルバー人材センターの更なる発展に向けた議論を今後進めていくとの提起がされました。

理事会及び事務局組織図のお知らせ

令和6年 7月1日 現在

【理事会】

理事長	松南 宏次
副理事長	枅谷 進
常務理事	辻本 昌弘
理事	竹森 正廣
理事	菅生 重政
理事	高木 元治
理事	池田 博美
理事	安田善次郎
理事	牧村 清美
理事	宮本 利和
理事	藤裏 卓司
理事	樋上 圭子
理事	丸橋 成行
理事	中尾 益子
理事	片岡 憲一
監事	下田 吉美
監事	吉田 廣彰



理事(非常勤)
宮本 利和
理事(非常勤)
丸橋 成行 (臨職)

統括調整員 池畑 嘉晃

(総務係 岡本事務局長兼務) (業務1係長 川端補佐兼務) (業務2係長 川端補佐兼務)

係員:柴 純子 係員:武智 里絵 係員:阿部 真也 嘱託:後藤田 理津子

臨職:山本 多美 臨職:福田 篤 臨職:中山 君江 臨職:藤井 貴浩

※事務局職員は配属されている係の任務分担だけでなく、相互に協力し、日常業務を行っています。



2024. 7~9月 期安全就業標語

【 身を守る 保護具をつけて 安全作業 】

2024. 7～9月 熱中症対策標語

【 こまめに休憩 水分補給 】

高齢世代は、**温度に対する感覚が弱くなるため、室内でも熱中症にかかりやすい**といわれています。通常、脳が暑いと判断すると、体は自律的に皮膚の血流量や汗の量を増やして、体内の熱を周囲に逃がそうとします。しかし、老化が進むとこれらの増加の開始が遅れ、体温上昇に伴う増加の割合も小さくなります。そのため、**若者に比べて体の熱を周囲に逃がす熱放散能力が低く、深部体温**

が上昇しやすくなります。それ以外にも、**高齢世代は温度に対する感覚が弱くなって「暑い」と感じにくくなったり、体内の水分量が減少していたり、のどの渇きを感じにくくなったり**することで、**熱中症にかかりやすくなっています。** 自分自身も、周囲にいる人も、熱中症に注意してください！！



『シルバー川柳大会』 企画委員よりシルバー会員の皆さんへのお知らせ！
このたび初めて、「**シルバー川柳大会**」を開催することになりましたので、会員の皆さんへ作品を募集いたします。テーマは「**シルバー人材センター**」です。
シルバー人材センターは「**生涯現役！ 生きがいつくり ・ 仲間づくり ・ 健康作り ・ 市民貢献**」の団体です！シルバー会員ならではの視点で感動と共感を与えることができるユーモアあふれる川柳を募集いたします！**川柳(五・七・五)の調べ**にのせて、一句作ってみませんか？同封しております応募用紙に記入頂き、所定の方法でご応募下さい。
沢山のご応募お待ちしております！
応募はお一人2句までとします。応募期限 8月 31日(金)まで！！



★お 知 ら せ★ シルバーの日ボランティア活動

令和6年度は **10月19日 土曜日**に実施します

全国シルバーは、毎年10月を普及啓発促進月間として全国一斉に啓発活動を展開しています。今年度の活動内容の詳細については会員理事を中心に総務委員会で協議されています。活動内容が決定しましたら会員皆さんにお知らせします。



